

令和4（2022）年度 第12期事業報告書

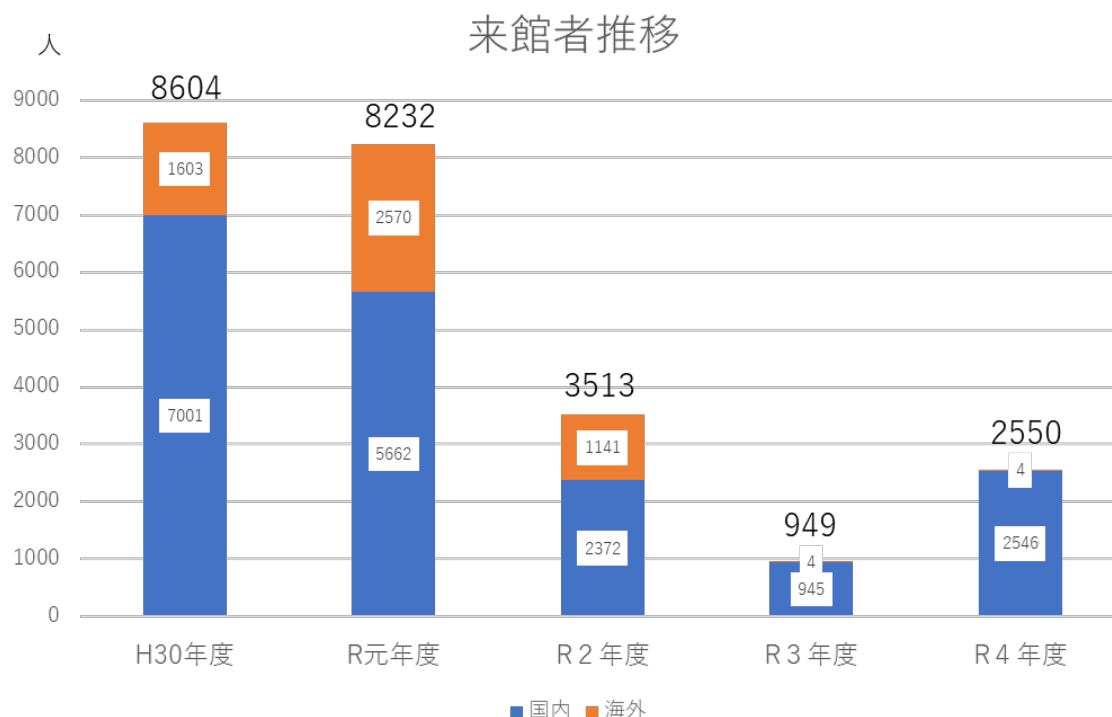
<令和3（2021）年10月1日～令和4（2022）年9月30日>



公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22（2010）年9月公益財団法人に移行後、今年度で第12期を終了致しました。

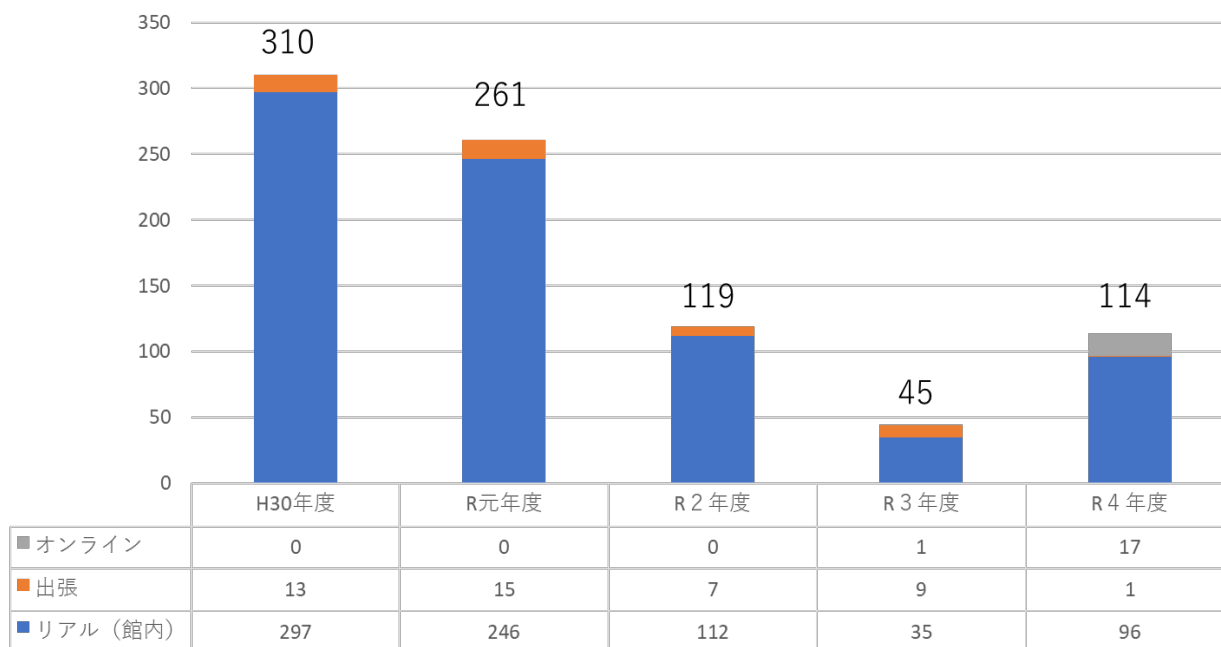
今年度の松下資料館への総来館者数は2,550人（例年8,000～9,000人）と新型コロナウイルスの影響が引き続きありましたが、昨年度よりも1,601人増と回復のきざしが見えた一年でした。

来館者の内訳といたしましては、国内来館者がほぼ100%で、海外からの来館者は4人でした。開設以来、令和4（2022）年度末までの来館者数累計は130,397人となりました。



また、減少していた講話回数も令和4（2022）年度は増加に転じております。

講話回数



講話室に新たに導入したプロジェクターおよび音響システムは、大画面の鮮明な画像と部屋全体に行き渡るクリアな音を通して、受講者から大変好評をいただいております。

当財団の経営概況ですが、利金収入については為替連動仕組債は円安により利金が増加、また、株価連動仕組債は株式市場の乱高下があるも予定通りの利金を確保でき、最終事業収支では51百万円を計上することができました。

< I 経営研究事業 >

松下資料館は多目的な“研究の場”として、松下哲学の勉強会や日本の経営を中心とした研究会などを随時行なっております。それぞれ研究成果を本や研究レポートにまとめて発表してきました。



1. 教養講座の実施

教養講座とは、豊かで幸せな社会を創るために役立つ考え方・知識・情報等を教養として学ぶ少人数制の公開講座です。

< 教養講座の企画コンセプト >

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

◎< 第3回 > 令和4（2022）年2月

佐藤悌二郎氏（株式会社PHP研究所 客員）

講演テーマ：「松下幸之助の生き方に学ぶ～松下幸之助とともに39年～」

◎< 第4回 > 令和4（2022）年6月

木村幸比古氏（幕末維新ミュージアム霊山歴史館 元副館長・学術アドバイザー）

講演テーマ：「幕末維新と京都」

◎< 第5回 > 令和4（2022）年9月

遠藤紀夫（松下資料館 館長）

講演テーマ：「松下むめの物語～松下幸之助を支えたもう一人の創業者」

2. オンライン講話および出張講演の実施

諸事情により、松下資料館に来館できない団体・グループの希望に応えるために、松下幸之助哲学を紹介するオンライン講話および出張講演を実施いたしました。

【オンライン講話（実施団体：7団体 講話回数：17回）】

- ① ジー・ディー・エス<6回>
- ② パナソニックシステムソリューションズジャパン<4回>
- ③ パナソニック環境エンジニアリング<3回>
- ④ 京都丹の国JA<1回>
- ⑤ 東芝テック九州PP会<1回>
- ⑥ タカラコーポレーション<1回>
- ⑦ パナソニックマーケティングスクール<1回>

【出張講演 実施団体 1件】

- ① 京都丹の国JA<役職員大会 300名>

< II 展示事業 >

展示コーナーでは、グラフィックパネルを用いて、松下幸之助の“行き方・考え方”を紹介しております。さらに映像ブースでは、松下幸之助とその教えを受けた人々の映像を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で視聴することができます。



1. 第9回「新入社員 合同学びの会」の実施

「新入社員 合同学びの会」の趣旨は、中堅企業・公共団体の新社会人に向けて、松下幸之助の仕事観・人生観を講話や展示・映像視聴等で学んでいただくことにあります。

◎令和4（2022）年4月22日 9団体 11名

2. 関連先との連携強化

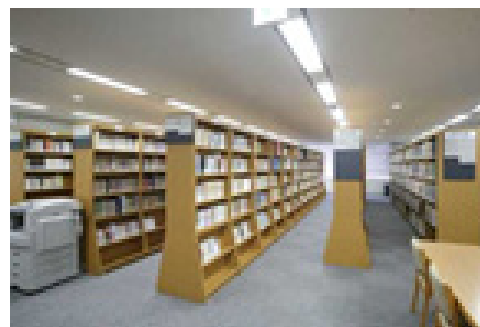
松下資料館と関係の深い企業・団体（パナソニック、PHP研究所 等）との連携を強化し、松下幸之助哲学の普及とファンづくりを行ないました。

【主な実施内容】

- ・松下政経塾42期生 関西研修
- ・PHP感謝の会
- ・松下幸之助商学院 ※パナソニックショップ（街の電気屋さん）の後継者育成校
- ・インターンシップ研修 ※SMB C日興証券、協和テクノロジーズの2社がそれぞれ実施
- ・三井不動産レジデンシャルサービスをパナソニックが招待 ※過去12回実施
- ・恵那市役所生涯学習課 ※PHP公共政策事業の一環として2回利用
- ・書店幹部をPHPが招待（有隣堂、附屋書店） ※過去にも紀伊國屋書店、大垣書店
- ・関西電力「自己啓発チャレンジセミナー」 ※毎年実施
- ・大阪府経営合理化協会「経営研修」 ※毎年実施
- ・京都産業大学経営学部篠原ゼミが利用 ※篠原教授は松下資料館研究会のメンバーだった

<Ⅲ 経営図書館事業>

経営図書館では、現代経営に役立つ図書館を目標に、その関連資料を収集しております。松下幸之助がこれまでどのようなことを述べてきたかを知りたいとき、日本的経営の源流を知りたいとき、あるいは経営者の経営理念をじっくり研究したいときなど、経営、ビジネスの面から幅広く活用することができます。



◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書を、さらに収集・充実化を図ってまいりました。

令和4（2022）年9月末現在 蔵書数全蔵書数 21,646冊

（内） 松下幸之助関連	1,790冊
経営者執筆本	2,641冊
会社社史	3,617冊（2,269団体）

【会社社史 蔵書登録数】

業界	冊数
マニュアル、系	11
水産、農林業、鉱業	21
建設、住宅、電気工事 他	223
食品	126
繊維	105
紙・パルプ、化学	158
医薬、塗料 他化学	90
石油、ゴム、ガラス、セメント他窯業	108
普通鋼、特殊鋼、他 鉄鋼	95
非鉄、電線、ダイガスト、金属製品	92
原動機・工作機・産業機械 他機械部品	158
重電・通信機・家電・計器 他電気	267
精密 その他 製造	142
造船・車両・自動車・自転車・航空機	181

業界	冊数
商業	174
量販店・外食・百貨店・スーパー	105
銀行・証券・その他金融	312
不動産	30
鉄道・陸海運・航空・倉庫・運輸関連	191
放送・通信・出版・電力・ガス・サービス	424
生命保険・損害保険	65
公企業・団体・組合	365
その他(DVD・VHS)	14
パナソニック関連の社史	160
合計	3,617

件

庶務事項

- 1) 令和3年11月17日 「第23回 理事会開催」
 - ・第1号議案 「令和3年度 第11期事業報告書及び財務諸表」承認の件
- 2) 令和3年11月17日 「第23回 評議員会開催」
 - 「決議事項」
 - ・第1号議案 「議事録署名人選出」の件
 - 「報告事項」
 - ・1 「令和3年度 第11期事業報告書及び財務諸表承認」の件
 - ・2 「理事6名任期満了に伴う改選」の件
 - ・3 「監事3名任期満了に伴う改選」の件
- 3) 令和3年11月17日 「臨時理事会」
 - 「報告事項」
 - ・1 「理事改選に伴う代表理事及び専務理事選任」の件
- 4) 令和3年12月8日 「評議員会」書面決議
 - ・第1号議案 「令和3年度 第11期事業報告書及び財務諸表承認」の件
 - ・第2号議案 「理事6名任期満了に伴う改選」の件
 - ・第3号議案 「監事3名任期満了に伴う改選」の件
- 5) 令和3年12月8日 「理事会」書面決議
 - ・第1号議案 「理事改選に伴う代表理事及び専務理事選任」の件
- 6) 令和4年8月29日 「理事会」書面決議
 - ・第1号議案 「評議員会招集」の件
- 7) 令和4年9月12日 「第24回 理事会開催」
 - ・第1号議案 「令和5年度 第13期事業計画案・収支予算案」並びに「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件
 - ・第2号議案 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項」の件
- 8) 令和4年9月12日 「第24回 評議員会開催」
 - ・第1号議案 「議事録署名人選出」の件
 - ・第2号議案 「令和5年度 第13期事業計画案・収支予算案」並びに「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件
 - ・第3号議案 「新任評議員選任」の件